

目 次

序 章

第1節 歌仔戲の略史	1
第2節 先行研究の整理	4
第3節 問題意識と問題設定	12

〈第一部〉 女性文化の確立まで（1890～1980年代）

第1章 台湾女性の近代

第1節 モダンガールの象徴	19
第2節 家父長制度における女性の嗚咽	22
第3節 自立する道へ	29

第2章 歌仔戲の歴史的変遷-「胡撇仔戲」を中心に

第1節 新しい演劇の誕生-歌仔戲	40
第2節 「民間歌劇」から「伝統戯曲」へ	42
第3節 西洋文化への憧れ-少女歌劇との接触-	49
第4節 ショウのように	51

〈第二部〉 夢の世界-儒教社会からの脱出-（1980～1990年代）

第3章 「ヒロイン」の誕生

第1節 「苦旦」の存在感	58
第2節 歌仔戲における言葉の喪失	63
第3節 主体性のある「ヒロイン」へ-《秋霜燕子飛》- <small>チョースオンヤエンツツフエー</small>	67
第4節 時代の読み違い	74

第4章 〈男役〉論-宝塚歌劇との比較を通じて-

第1節 「父」の不在-《蛇郎君》- <small>スワーラァンゲン</small>	80
第2節 男性の理想像としての「ヒーロー」	98
第3節 両性具有の演出	

- 《風と共に去りぬ》と《ベルサイユのばら》と《孟麗君》とをめぐって- <small>もうれいくん</small>	113
--	-----

〈第三部〉 「歌仔戲」、台湾文化の顔として（1990年代～現在）

第5章 「父」の甦り-《台湾我的母親》を手掛かりに- タイワンウォデムーチーン

第1節 京劇化された歌仔戲	133
---------------------	-----

第2節	多元文化へのオマージュ	137
第3節	〈娘役〉の女性身体に付随する政治性	145
第4節	「ヒーロー」の不在	152
第5節	「〈男役〉の美学」はどこへ	157
第6章	宝塚を目指せ?!-歌仔戯の舶来文化を考える	
第1節	ダンス化する歌仔戯	166
第2節	「歌仔戯」の現代化-《阿隆的 ^{アロンディクレンジー} 苦恋歌》-	170
第3節	文人価値への傾斜	176
終章	184
参考文献	190
〈付録〉		
(1)	歌仔戯年表	
(2)	狄珊の創作年表	
(3)	電視「金鐘賞」受賞作品表	
(4)	国立台湾戯曲学院歌仔戯学系中学部1年生と3年生時間割表	